

トークセッション

『忘却に抵抗するドイツ』著者

岡裕人さんをお迎えして



ドイツの“記憶の文化”を考える



2/17

(金)

午後 7～9 時

現代ドイツがナチ時代の歴史と向き合う姿勢は、日本でも高い関心を集めてきました。その姿勢は、過去の反省だけでなく、自由と民主主義を尊重する社会を築こうというドイツの現在と未来のための挑戦と強く結びついています。

この度、在独 27 年の歴史研究者であり教育者である岡裕人さんをお迎えして、ドイツの学校教育の現場や社会で、歴史から学ぶためにどんな取り組みが行われているのか、お話をお聞きます。

「他者」への憎しみや排斥の空気が世界に広がるなか、ドイツの「記憶の文化」から未来への希望を一緒に探してみませんか。

日時	2017年2月17日(金) 午後7～9時
会場	学習院大学 北2号館10階 大会議室 JR山手線「目白」駅より徒歩約5分
対象	高校生以上、どなたでも 定員50名(要申込)
参加費	1,000円 (学生は無料)
申込	下記のホームページよりお申込みください http://www.npokokoro.com/20170217
主催	ドイツの記憶の文化を考える会 NPO法人ホロコースト教育資料センター お問い合わせは、 kokoro.org@gmail.com まで



ゲスト おか ひろと 岡裕人氏

一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。89年渡独し、コンスタンツ大学大学院歴史学科で博士号取得。ベルリンの壁崩壊を見聞き、以後変革するドイツで歴史研究と教育に携わってきた。現在フランクフルト日本人国際学校事務局長。主な著書に『忘却に抵抗するドイツ - 歴史教育から「記憶の文化」へ』(大月書店)、『「ホロコーストの記憶」を歩く - 過去をみつめ未来へ向かう旅ガイド』(子どもの未来社)。

